



たなか歯科がインプラントに新技術 骨髄液で骨再生し施術可能に 東大など開発、安全で高成功率

岡山県西部インプラントC
Tセンター たなか歯科(笠岡
市吉浜一四八〇一四、田中賢
治院長) 写真Ⅱはこのほど、
東京大学医学研究所と藤T
E.S.ホールディングス(東京
都)が共同で研究・開発した
最新技術「TE-BONE」
手術のための歯槽骨再生治
療技術で、患者の骨髄液を使
って培養した骨をあごに移植
するもの。

インプラントでは、歯を支
えるあごの骨である歯槽骨を
土台に人口の歯根を埋め込む。
このため、骨がやせてしまっ
ている高齢者や歯周病が進行
した人への施術は難しかった。
従来は人工物や動物の骨を使
ったり、患者自身の骨を削っ
て歯槽骨を増やす方法が一般
的だったが、術後に歯根がう
まく合わない、肉体的負担が
高まるなどリスクも大きかつ
たという。

TE-BONEでは、基盤
施設の大阪再生医療センター
(大阪市)で患者自身の腰部
の骨から骨髄液を採取し、こ
れを基に約二カ月かけて「培
養骨」を生成。あごへの移植
手術(日帰り可)を行い、骨
が十分に再生するまで約一六

週間待たばインプラント手術
が可能な状態になる。
備後では2カ所のみ

民間には紹介されて間もな
い手法で、田中院長は学会を
通じて知り「患者さんの利益
になれば」と早速導入を決め



「TE-BONE」のイメージ。欠損部分の歯槽骨を再生し(中)、インプラントを行う(右)

た。同社の技術・知識審
査にパスして提携医療機
関に認定され、受け付け
を始めています。現在提携
先として承認されている
のは全国二一機関で、岡
山県ではたなか歯科を含
めて二カ所、広島県には
一カ所(尾道市)のみ。

現時点では骨髄液採取と移
植手術の際に大阪まで出向く
必要があるが、インプラント
とメンテナンスはたなか歯科
で実施する。保険外診療で、
目安として培養骨の移植と再
生までに歯三―四本で八〇万
―九〇万円ほどかかるという。

「割高ではあるが、自分の骨
髄細胞を使うので拒否反応な
ど危険が少なく、成功率も
高い。五〇―六〇代で手術リ
スクの大きい人、より安全な
治療を望む人に向いている」
試算では、インプラントを
希望する全患者の10%前後に
はTE-BONEが適しており、
5%はTE-BONE以外での
術は難しいとされる。

田中院長は「CT撮影を行い
詳細な検査を実施した上で、
丁寧に説明します。「骨が足
りない」と言われてインプラ
ントをあきらめていた人など
に、選択肢の一つとして知っ



TES社の認定証を持つ田中院長

てほしい」と話している。今
後も東大に定期的に通い、最
新の知見を取り入れながら対
応していく予定。

受け付け時間は9時―12時
30分と14時30分―19時(金曜
は午前のみ、土曜は18時ま
で)で日曜・祝日休み。

問 ☎0865・69・
6701

「経営セミナー」資金管理
と資金繰り表の作り方」が3
月22日(木)18―20時、福山商工
会議所(福山市西町)で行わ
れる。講師は中小企業診断士
でおかもと診断士事務所の岡
本泰之さん。受講無料で定員
五〇人。希望者は申込書に必
要事項を記入し、福山地域中
小企業支援センター(ヘファク
ス(084・9222・0110
0)で申し込む。

問 ☎084・973・
6355